

小型船舶の省エネ・CO₂削減を実現するエコシップへの挑戦

第三船用工業株式会社



小型船舶搭載型ジャイロ式高効率波力発電装置

所在地：〒574-0044 大阪府大東市諸福 3-12-33

TEL：072-874-1361

FAX：072-874-6947

従業員数：12名

事業内容：船舶用機器製造業

小型船舶の艀装品に特化し、海に生きる人々のニーズに応える

当社は、小型漁船やプレジャーボートなどの小型船舶の軸系装置、ポンプ配管システム、排気システム、防蝕システムなど、一般に艀装品と呼ばれる船体とエンジンを除く様々な部品を製造しています。

当社が製造している艀装品の一つにサイドスラスターと呼ばれるものがあります。これは、船体の水面下前方にトンネルを通し、その中にプロペラをつ

けて横向きに水流を出すことで船を横滑りさせる装置です。狭い航路を通過する時や、離着岸をスムーズに行う時に有効です。また、沖合で船釣時など船先の向きを簡単に変えることができます。

当社は、小型船舶市場の中で、海に生きる人々のニーズを捉え、新たな製品開発を積極的に行っています。



プレジャーボート用電動式サイドスラスター

揺れや廃熱からエネルギーを取り出す装置の開発で漁船漁業の経営改善に貢献

日本の造船業界は、韓国や中国に後塵を拝して受注が激減し、2年後には造る船が無くなるという「2014年問題」の危機に直面しています。それに立ち向かうために環境技術を活かした「エコシップ」が注目されています。

当社でも小型船舶分野で研究機関と共同で「エコシップ」の開発に取り組んでいます。一つが、「小型船舶搭載型ジャイロ式高効率波力発電装置」です。これは船舶の上に装着し、波力を電力に変換すると同時に、船舶の揺れを小

さくする装置です。ジャイロモーメントの利用により、従来の波力発電の2倍の効率で発電します。

もう一つは、「小型船舶用ディーゼルエンジンの排気廃熱から熱電素子を応用して発電する装置」です。これは、金属の両端に温度差を与えると、その両端に起電力が生じるという現象を利用したもので、そうした性質をもつ熱電素子を排気システムに取り付け、エンジンからの廃熱を電力に変換する装置です。原油高騰でコストアップにあえぐ漁

船漁業の経営改善に貢献するのが狙いです。

小型船舶の
エネルギー消費
効率向上へ
トライ!

